

2021 年度

武蔵大学大学院 学生募集要項

経済学研究科

博士前期課程(修士課程)

経済・経営・ファイナンス専攻

博士後期課程

経済・経営・ファイナンス専攻

人文科学研究科

博士前期課程(修士課程)

欧米文化専攻

日本文化専攻

社会学専攻

博士後期課程

欧米文化専攻

日本文化専攻

社会学専攻

新型コロナウイルス感染症拡大等により、入学試験実施（試験日程、試験内容等）について変更が生じる可能性があります。

変更が生じた場合は、本学公式 Web サイトにて随時公表いたしますので、出願にあたっては必ず本学公式 Web サイトにて最新情報をご確認ください。



MUSASHI
UNIVERSITY

目 次

個人情報の取扱いについて	1
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	2
入学試験日程	6
経済学研究科	
博士前期課程（修士課程）	8
博士後期課程	14
人文科学研究科	
博士前期課程（修士課程）一般入試	17
博士前期課程（修士課程）社会人入試	22
博士後期課程	25
各研究科共通事項	
入学手続	28
長期履修学生制度、早期修了制度等	29
受験及び修学における特別な配慮について	29
研究指導教授	30

授業科目・各担当教員の研究については
本学公式 Web サイトに掲載しています。ご参照ください。

www.musashi.ac.jp

大学院入試に関する事務は下記で取り扱います。

武蔵大学入試課（8号館1階）

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

電 話 03-5984-3715

FAX 03-5984-3874

本学公式 Web サイトの ☒ お問い合わせフォーム

【個人情報の取扱いについて】

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、願書受付、入学試験実施、合格者発表、入学手続及びこれらに付随する業務を行うために利用します。これらの業務の一部を、武蔵大学が指定した業者に委託する場合があります。その際は、委託先に対し、機密保持契約を結び必要かつ適切な管理を義務付けた上で、委託先に対して必要な範囲で、お知らせいただいた個人情報を提供します。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、武蔵大学における入学者選抜及び教育改善のための調査の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

なお、出願書類については「学校法人根津育英会武蔵学園 個人情報保護規程」に基づき適切に管理いたします。詳細は、下記武蔵大学公式 Web サイトの「武蔵学園における個人情報の取扱い」をご確認ください。

<https://www.musashigakuen.jp/privacypolicy.html>

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

■大学院

武蔵大学は、学園建学の三理想にもとづいて大学の教育の基本目標を定め、これらをもとに各学部・研究科の人材養成の目的と教育研究上の目的を定めています。こうした本学の建学の理念や教育目標、人材養成の目的等を十分に理解し、本大学院で専門的研究を行う意欲のある次のような人を専攻ごとに受け入れます。

【博士前期課程】

1. 学士課程において培われた幅広いリベラルアーツに基づく教養と基礎的知識、各専門分野で研究を遂行するに足る外国語運用能力を身につけている人
2. 高度な専門的職業人または自立した研究者になろうとする意欲をもつ人
3. これまでの社会人生活の中で培った経験をもとに、より専門的な知識や技能を身につけ、社会に貢献しようとする意欲のある人

入学者選抜試験においては、入学後の研究をより多いものとすることができるように、上記項目の知識や能力を評価する。

具体的には、各専攻・コースによって指定される専門分野に関する筆記試験（外国語試験を含む場合がある）により専門的知識や言語運用能力を測り、口述試験により社会的・文化的諸問題に対する関心、さらに思考力、判断力、表現力や主体性等を確認し、総合的に評価する。

【博士後期課程】

1. 博士前期課程などで修得した豊かな専門的知識と高い外国語運用能力を身につけている人
2. 志望分野において自らが主体的に問題を発見し、原典や先行研究の適切な分析にもとづいて、それを解決する能力をもっている人
3. 専門の研究領域において、オリジナリティのある自律的で高度な研究活動ができる能力とその基盤となる学識を得て、博士論文に結実させようとする意欲のある人

入学者選抜試験においては、入学後の研究をより多いものとすることができるように、上記項目の知識や能力を評価する。

具体的には、各専攻によって指定される専門分野に関する筆記試験(外国語試験を含む場合がある)により専門的知識や言語運用能力を測り、口述試験により社会的・文化的諸問題に対する関心、さらに思考力、判断力、表現力や主体性等を確認し、総合的に評価する。

■経済学研究科

○求める学生像

【博士前期課程】

本学の学園建学の三理想と教育の基本目標を理解し、学士課程において培った専門的知識と総合的教養を前提として、経済理論、経済史、応用経済、経営、経営情報、会計、ファイナンスの諸領域および関連分野を研究対象とし、本研究科で学ぶに充分な一般的教養、専門的知識と外国語文献読解能力、理論的分析力を有し、研究能力を向上させ、専門性の高い職業に就きうる知識を身につけたい人を受け入れます。

○コースごとの受入方針および評価のポイント

コース	受入方針・評価のポイント
研究者コース	博士後期課程への進学希望があり、修士論文を作成する意欲を持っている人を対象とし、筆記試験による専門的知識および外国語、特に読解力について評価するとともに、口述試験、出願時の志望理由や研究計画の内容により主体性や意欲を、総合的に評価します。
高度職業人コース 【キャリア別プログラム】	博士前期課程修了後に就職を希望する人を対象に、筆記試験による専門的知識および外国語、特に読解力について評価するとともに、口述試験、出願時の志望理由やコース選択の理由、研究計画の内容、将来のキャリアプラン等、主体性や意欲と合わせて総合的に評価します。
高度職業人コース 【テーマ別研究プログラム】	現在の職場で取り組んでいる、あるいはかつての職場で取り組んでいた仕事上の課題と、本プログラムで用意されているテーマについて、プレゼンテーションと口述試験を通して評価します。また、プログラムごとに設定されている必修科目等を履修し理解できる基礎学力があることも必須です。

○求める学生像

【博士後期課程】

本課程では、博士前期課程において修得した経済学・経営学・金融学の諸領域における高い専門能力と外国語文献読解能力、理論的分析力、言語運用能力等を有し、社会経済の安定と発展に貢献する有為な人材たる研究者として、専門の研究分野において国内外を問わず自立した研究活動を行い、学位論文を完成する意欲を持った人を受け入れます。

○受入方針および評価のポイント

修士の学位または専門職学位を有するとともに、専門の研究領域において自立した高度な研究を遂行しようとする人を対象に、外国語の筆記試験と口述試験により、学位論文を完成できるだけの高い専門能力と外国語文献読解能力、理論的分析力、言語運用能力等を有しているかを評価します。

■人文科学研究科

○求める学生像

【博士前期課程】

本学の学園建学の三理想と「全学の教育の基本目標」を理解し、学士課程において修得した専攻分野、すなわち、言語・文学・歴史・思想・芸術・民俗・比較文化論、社会学理論、社会学方法論、社会学の諸領域およびその関連分野を研究対象とし、本研究科で学ぶに充分な一般的教養、専門的知識と外国語文献読解力、言語運用能力、理論的分析能力等を修得し、主体的に研究に取り組み、社会に貢献しようとする意欲を有していることを入学者受け入れの基本的な条件とします。

（１）欧米文化専攻

英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏を中心とする欧米文化研究、比較文化研究を理論的かつ実践的に研究しようとする人。英語、ドイツ語、もしくはフランス語を中心とする外国語の文献読解力に加え、さまざまな文化現象を独自の視点から調査し分析できる論理的な思考力と言語運用能力をもち、学士課程修了レベルの専門的知識を有する人

（２）日本文化専攻

日本をはじめとする東アジア諸地域の文化研究に高い関心を持ち、学術研究の遂行に必要な基礎的知識と文献読解力、言語運用能力を有する人。さらに、日本と東アジア諸地域との比較研究も視野に入れながら、専攻分野に関する資料分析能力および論理的思考力、表現力を備え、自ら発見した課題にもとづき設定したテーマについて、積極的かつ主体的に追究することができる人

（３）社会学専攻

一般的教養、外国語文献読解力、言語運用能力を有するとともに、学士課程修了レベルの社会学・メディア研究の専門的知識、理論的分析能力、データ解析能力、社会学的思考力を有している人。さらに、さまざまな社会的、文化的現象を理論的、実証的に分析し、独自の視点から自ら設定したテーマについて積極的、主体的に研究に取り組むことができる人

○コースごとの受入方針および評価のポイント

コース	受入方針・評価のポイント
専門研究コース	各専攻とも、筆記試験による専門分野に関する専門的知識(学士課程修了レベル)および外国語、とくに読解能力について評価するとともに、口述試験時の質疑応答状況、さらに出願時の志望理由や研究計画の明晰性、妥当性等について総合的に評価します。
キャリアアップコース	各プログラムともに専門的な職業に就くための各領域の専門的知識や技法等の修得および専門的研究にかなう、学士課程における基本的知識を修得していることを前提としています。よって、筆記試験による専門分野に関する専門科目、小論文、口述試験時の質疑応答状況、さらに出願時の志望理由や研究計画の明晰性、妥当性等について総合的に評価します。
生涯学習コース	専門的な職業に就くため、あるいは文化交流や社会貢献に資する専門的知識の獲得を目的としていることから、各領域における高度な研究能力が必要です。よって、筆記試験による専門分野に関する専門科目、小論文、口述試験時の質疑応答状況、さらに出願時の志望理由や研究計画の明晰性、妥当性等について総合的に評価します。
社会人入試	豊かな社会経験を有し、勉学意欲旺盛な者を受け入れます。筆記試験による専門分野に関する専門科目、小論文、口述試験時の質疑応答状況、さらに出願時の志望理由や研究計画の明晰性、妥当性等について総合的に評価します。
学内推薦入試	学部教育と大学院教育を有機的に結びつけ、より高い教育効果を上げるために、本学人文学部および社会学部に在籍する卒業年次の学生で大学院進学を希望する学生を受け入れます。学部での成績により専門的知識(学士課程修了レベル)を、出願書類および口述試験により主体性や意欲、出願時の志望理由や研究計画の明晰性、妥当性等を総合的に評価します。

○求める学生像

【博士後期課程】

博士前期課程において修得した人文学、社会学の諸領域における高い専門能力と外国語文献読解能力、言語運用能力、理論的分析能力、データ解析能力、社会学的思考力等を有し、自立かつ批判的探究精神をもって、英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏を中心とする欧米文化、比較文化、日本および東アジアの文化、理論的かつ経験的 sociology における高度な専門的研究を行おうとする人を受け入れます。さらに、本課程に3年(6学期)以上在学し、所定の研究指導を受け学位論文を提出する意欲をもっていることを受け入れの基本的な条件とします。

(1) 欧米文化専攻

英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏を中心とする欧米文化研究、比較文化研究を理論的かつ実践的に研究しようとする人。英語、ドイツ語、もしくはフランス語を中心とする外国語の文献読解力に加え、修士課程修了レベルの高度な文化研究に関する専門的知識、理論的分析能力、言語運用能力を有している人。さらに、独自の視点から自ら設定した研究テーマについて学位申請論文の作成に計画性をもって、自立、主体的に取り組むことができる人

(2) 日本文化専攻

日本をはじめとする東アジア諸地域の文化研究に強い関心を持ち、博士前期課程修了レベルの専門的知識と文献読解力、言語運用能力を有する人。さらに、日本と東アジア諸地域との比較研究も視野に入れながら、専攻分野に関する高度な資料分析能力および論理的思考力、表現力を備え、自ら発見した課題をふまえて独自に設定したテーマのもと、独創的な学位申請論文の作成に計画的かつ自立に取り組むことができる人

(3) 社会学専攻

一般的教養、外国語文献読解力、言語運用能力を有するとともに、修士課程修了レベルの高度な社会学・メディア研究に関する専門的知識、理論的分析能力、データ解析能力、社会学的思考力を有している人。さらに、独自の視点から自ら設定した研究テーマについて学位論文の作成に計画性をもって、自立、主体的に取り組むことができる人

○受入方針および評価のポイント

修士の学位または専門職学位を有するとともに、専門の研究領域において自立した高度な研究を遂行する能力を有するかを確認するため、専門科目に関する筆記試験および口述試験を実施するとともに、修士論文(それに相当するもの)および志望理由書、研究計画書、学業成績等について総合的に評価します。

<参考>

- ・ 建学の理念と教育の基本目標
<https://www.musashi.ac.jp/annai/rinen.html>
- ・ グローバル教育方針
https://www.musashi.ac.jp/annai/houshin/global_houshin.html
- ・ 武蔵大学の教育研究上の目的
https://www.musashi.ac.jp/annai/kyouiku_zyohou/mokuteki.html
- ・ 武蔵大学のディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)
https://www.musashi.ac.jp/annai/kyouiku_zyohou/seiseki/diploma_policy.html
- ・ 武蔵大学のカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)
https://www.musashi.ac.jp/annai/kyouiku_zyohou/zyugyou/curriculum_policy.html
- ・ 武蔵大学のアドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)
https://www.musashi.ac.jp/annai/kyouiku_zyohou/gakusei/admission_policy.html

入学試験日程

経済学研究科

■博士前期課程（修士課程）

		I 期入試	II 期入試
出願期間		2020 年 6 月 26 日（金） ～ 7 月 3 日（金） （締切日消印有効）	2021 年 1 月 14 日（木） ～ 1 月 22 日（金） （締切日消印有効）
試 験 日		2020 年 7 月 19 日（日）	2021 年 2 月 20 日（土）
集合時間		本 学	本 学
試験会場		受験票郵送の際に併せて連絡します。	受験票郵送の際に併せて連絡します。
合否通知		2020 年 7 月 20 日（月）発送	2021 年 2 月 22 日（月）発送
入学手続期間	1 次	2020 年 7 月 21 日（火） ～ 7 月 31 日（金）消印有効	2021 年 2 月 24 日（水） ～ 3 月 2 日（火）消印有効
	2 次	2021 年 2 月 24 日（水）～ 3 月 12 日（金）消印有効	

■博士後期課程

出願期間		2021 年 1 月 14 日（木）～ 1 月 22 日（金）（締切日消印有効）
試 験 日		2021 年 2 月 20 日（土）
集合時間		本 学
試験会場		受験票郵送の際に併せて連絡します。
合否通知		2021 年 2 月 22 日（月）発送
入学手続期間	1 次	2021 年 2 月 24 日（水）～ 3 月 2 日（火）消印有効
	2 次	2021 年 2 月 24 日（水）～ 3 月 12 日（金）消印有効

人文科学研究科

■博士前期課程（修士課程）

		I 期入試 ＊学内推薦入試のみ	II 期入試 ＊一般入試・社会人入試のみ
出願期間		2020 年 10 月 12 日（月） ～ 10 月 20 日（火） （締切日消印有効）	2021 年 1 月 14 日（木） ～ 1 月 22 日（金） （締切日消印有効）
試 験 日		2020 年 11 月 10 日（火）	2021 年 2 月 20 日（土）
集合時間		本 学 受験票郵送の際に併せて連絡します。	本 学 受験票郵送の際に併せて連絡します。
試験会場			
合否通知		2020 年 11 月 13 日（金）発送	2021 年 2 月 22 日（月）発送
入学手続期間	1 次	2020 年 11 月 16 日（月） ～ 11 月 20 日（金）消印有効	2021 年 2 月 24 日（水） ～ 3 月 2 日（火）消印有効
	2 次	2021 年 2 月 24 日（水）～ 3 月 12 日（金）消印有効	

■博士後期課程

出願期間		2021 年 1 月 14 日（木）～ 1 月 22 日（金）（締切日消印有効）
試 験 日		2021 年 2 月 20 日（土）
集合時間		本 学 受験票郵送の際に併せて連絡します。
試験会場		
合否通知		2021 年 2 月 22 日（月）発送
入学手続期間	1 次	2021 年 2 月 24 日（水）～ 3 月 2 日（火）消印有効
	2 次	2021 年 2 月 24 日（水）～ 3 月 12 日（金）消印有効

経済学研究科

博士前期課程（修士課程）

1. 出願資格

【研究者コース】・【高度職業人コース キャリア別プログラム】

次の各号のいずれかに該当する者、又は 2021 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者

※出願資格(9)に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、必要書類をそろえて、入学資格審査の申請を行ってください。

必要書類：入学志願票(A 票)、志望理由書、最終出身学校の卒業証明書・成績証明書(外国の教育機関の場合、翻訳を付すこと)

申請期間：Ⅰ期入試 2020 年 7 月 6 日(月)郵送必着

Ⅱ期入試 2021 年 1 月 8 日(金)郵送必着

【高度職業人コース テーマ別研究プログラム】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 出願時において、大学卒業後、企業、官公庁、教育・研究機関等において 2 年以上勤務している者又は実務経験を有する者
- (2) 経済学研究科委員会が(1)に準ずる人物と認めた者

※ただし、外国において 12 年(日本において高等学校卒業までに相当する期間)以上の学校教育課程を修了した者は、以下のいずれかを取得している必要がある。

- ・日本留学試験(EJU)「日本語『読解』、『聴解・聴読解』の 400 点満点中 240 点以上(ただし、『記述』は 50 点満点中 35 点以上であること)」(2017 年 11 月以降に実施された試験の成績に限る)
- ・日本語能力試験(JLPT) レベル N1
- ・J.TEST 実用日本語検定：「A-D レベル試験」準 B 級(700 点)以上(2019 年 3 月まで)
「A-C レベル試験」準 B 級(700 点)以上(2019 年 5 月から)

2. 募集人員

経済・経営・ファイナンス専攻 10 名（Ⅰ期、Ⅱ期合わせて）

※試験の成績によっては、募集人員に達しない場合でも入学を許可しないことがあります。

3. 入学検定料 35,000円

- (1) 入学検定料は「振込依頼書(D票)」を使って、金融機関(都市銀行・地方銀行・信託銀行・信用金庫・信用組合・農協)から**電信扱い**で振込んでください。
- (2) ゆうちょ銀行及び郵便局からの振込みはできません。また、**ATM(現金自動預入支払機)**は使用しないでください。
- (3) 振込み後、「振込金受領書(E票)」に取扱銀行の収納印があることを確認してください。
*「振込金受領書(E票)」は領収書となるので受験者本人が保管しておいてください。
- (4) 入学検定料が納入されても、出願書類が期間内に本学に到着しない場合は受験できません。また、一度納入された入学検定料は、原則として返還しません。ただし、次の①～④の場合で、返還請求締切日(Ⅰ期入試は7月31日(金)、Ⅱ期入試は2月26日(金))までに武蔵大学入試課(TEL: 03-5984-3715)に請求連絡があった場合のみ入学検定料を返還します。なお、入学検定料返還に伴い発生する手数料は志願者の負担となります。
 - ①入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
 - ②入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった場合
 - ③入学検定料を納入したが、出願締切後に出願書類を提出した場合
 - ④納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合

4. 受験上の注意事項

- (1) 当日は受験票を携帯し、試験場では常に机の上に置いてください。
- (2) 試験開始後 30 分以上遅れた者は、受験できません。
- (3) 試験開始後 30 分以内は退室することができません。
- (4) 試験当日は受験者関係の車の乗り入れはできません。
- (5) 感染症に関する注意事項

試験当日、感染症を疑う症状(38度以上の高熱、嘔吐、下痢などの症状)がある場合、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、学校保健安全法の出席停止期間内にあっても担当医が伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

5. 出願手続

(1) 出願書類等

- ・ 出願書類の受付は**郵送のみ**とします。**簡易書留・速達で送付**してください。
- ・ 出願書類は、日本語又は英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。
- ・ 長期履修学生制度を希望する受験者は 29 ページをご覧ください。

出願書類等	摘 要
入学志願票(A 票)	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。
対照票(B 票)	・ 履歴は最終学歴以降を空白期間なく記入してください。
受験票(C 票)	・ 出願前 3 ヶ月以内に撮影した正面向上半身無帽の写真を貼付してください。
研究計画書	・ A4用紙にこれまでどのような勉強をしてきたか、大学院入学後どのような研究をしたいのかを具体的に 2,000 字程度で記入してください。書式自由です。
成績証明書	・ 出身大学で作成したもの。 なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
卒業証明書又は 卒業見込証明書	・ 出身大学で作成したもの。 なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
市区町村発行の 住民票	・ 外国籍の者のみ提出してください(ただし、特別永住者を除く)。 ・ 在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前 3 ヶ月以内に発行されたもの(本人のもののみ)を提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・ 受験の為、短期ビザ等で来日している者は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
合格証書の写し	・ 試験の免除を希望する者(12~13 ページ参照)及び高度職業人コース テーマ別研究プログラムの出願資格(8 ページ参照)で必要な者のみ提出してください。
研究レポート 自著(論文、報告書等)	・ 高度職業人コース テーマ別研究プログラムに出願する者のみ提出してください(詳細は下記参照)。
宛名カード	・ 受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・ 4 ヶ所とも同じ住所を記入してください。

【高度職業人コース テーマ別研究プログラム志願者】出願書類について

・ 研究レポート

社会人としての経験などの中で研究テーマに関し、研究した内容や習得した知識などを記入してください。1,400 字前後(ワープロにて作成し、A4用紙 2 枚以内。1 枚目上段にタイトル、氏名を明記し、その直後から本文を書き始めること)で作成し、出願書類とともに郵送してください。

・ 自著(論文、報告書等) ※自己設定テーマ志願者のみ

上記の他、そのテーマに関する公刊された自著(論文、報告書等)を 2 本提出してください。公刊予定でも可とします。

(2) 入学志願票 (A 票) 等記入上の注意

- ① 「入学後の希望専修コース等」には希望するコースに○をし、コース別に以下の通り記入してください。

【研究者コース】

30 ページの「研究指導教授」を参照し、希望する研究指導教授を記入してください。研究指導教授の選択により、受験する専門科目が決定します。

【高度職業人コース キャリア別プログラム】

以下の 4 プログラムのうち、希望する 1 プログラムを記入してください。プログラムの選択により、受験する専門科目が決定します。

プログラム名	専門科目
公務員プログラム	経済学 A 又は経済学 B *
会計専門家プログラム	会計学
IT 経営ストラテジストプログラム	経営情報学
証券アナリストプログラム	金融・ファイナンス

* 「経済学 A」はマルクス経済学の理論、経済史の範囲から、「経済学 B」はマクロ経済学、ミクロ経済学の理論とその基本的な応用問題の範囲から出題されます。

・ 30 ページの「研究指導教授」を参照し、希望する研究指導教授を記入してください。

【高度職業人コース テーマ別研究プログラム】

以下の 8 テーマのうち、希望する 1 テーマを記入してください。

1 企業の経営戦略
2 プロジェクト投資とプライベート・エクイティ投資
3 株式ポートフォリオ投資戦略に関わる研究
4 地域経済の振興
5 経済特区活用の事例研究
6 アジア経済に関わる研究
7 経済・経営のグローバル化に関わる研究
8 自己設定テーマ(自身のキャリアの中で取り組んでいるテーマを希望する場合)

・ 30 ページの「研究指導教授」を参照し、希望する研究指導教授を記入してください。

- ② 連絡はすべて現住所宛に行うので正確に記入してください。
③ 対照票(B 票)及び受験票(C 票)の()内には、希望するコース(研究者コースあるいは高度職業人コース)を記入してください。その際、下記をご記入ください。

【研究者コース】希望する研究指導教授名

【高度職業人コース キャリア別プログラム】プログラム名及び希望する研究指導教授名

【高度職業人コース テーマ別研究プログラム】研究テーマ名及び希望する研究指導教授名

- ④ ※欄は記入しないでください。

(3) 受験票について

受験票は出願手続終了後に郵送します。試験日 3 日前までに受験票が届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。(入試課：03-5984-3715)

6. 選考方法と試験時間

【研究者コース】

出願書類による書類審査及び試験(筆記試験・口述試験)により選考します。

筆記試験	外国語科目(英語) 9:30～11:00	・出題された2問に解答してください。ただし、指定された英語外部検定試験の基準を満たす者は試験を免除します。13ページを参照してください。 ・外国人留学生は日本人学生と異なった基準で評価します。
	専門科目 12:00～14:30	・出願時に選択した研究指導教授別に試験科目が指定されます。 ・出題された2問に解答してください。
口述試験 15:30～(予定)		・外国語科目と専門科目の得点が既定の点数以上であった者に対してのみ行います。 ・口述試験該当者は、口述試験開始時刻の10分前に通知します。

【高度職業人コース キャリア別プログラム】

出願書類による書類審査及び試験(筆記試験・口述試験)により選考します。

筆記試験	外国語科目(英語) 9:30～11:00	・出題された2問に解答してください。ただし、指定された英語外部検定試験の基準を満たす者は試験を免除します。13ページを参照してください。 ・外国人留学生は日本人学生と異なった基準で評価します。
	専門科目 12:00～14:30	・出願時に選択したプログラム別に試験科目が指定されます。ただし、資格等を取得している者は試験を免除します*。下表を参照してください。 ・出題された2問に解答してください。
口述試験 15:30～(予定)		・外国語科目と専門科目の得点が既定の点数以上であった者に対してのみ行います。 ・口述試験該当者は、口述試験開始時刻の10分前に通知します。

※専門科目が免除となる資格等

プログラム名	資格等
公務員	経済学検定試験「ERE ミクロ・マクロ」B ⁺ 以上取得者
会計専門家	税理士試験「会計学に属する科目」1科目以上合格者
IT 経営 ストラテジスト	次のいずれかの合格者 ・応用情報技術者試験、ソフトウェア開発技術者試験又は相互認証されている諸外国(インド、韓国、中国、ベトナム、台湾)の行う同等の試験 ・情報処理安全確保支援士、情報セキュリティスペシャリスト試験又は情報セキュリティアドミニストレータ試験 ・ITストラテジスト試験又は上級システムアドミニストレータ試験
証券アナリスト	証券アナリスト試験(第1次レベル) 「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」合格者

【高度職業人コース テーマ別研究プログラム】

出願書類(研究レポートを含む)による書類審査及び試験(プレゼンテーション・口述試験)により選考します。試験時間は15:30からを予定しています。

7. 試験科目の注意

(1) 外国語科目(英語)について

- ①見出し語と語義の一方が英語又は日本語である全ての辞典(英和・中和・英中など)の持ち込み・使用を認めます。ただし、電子辞書及び経済・経営など専門的術語に関する辞典は、持ち込み・使用はできません。
- ②以下いずれかの資格を有する者は、外国語科目(英語)の試験を免除します。ただし、2017年7月以降に受検したものに限りです。
 - a. ケンブリッジ英語検定 154 以上
 - b. 実用英語技能検定 CSE 2184 以上(受検した級に合格していない場合でも出願可能)
 - c. GTEC 1114 点以上(オフィシャルスコアに限る。検定版、CBT タイプが利用可能)
 - d. IELTS オーバーオール・バンド・スコア 5.0 以上(アカデミック・モジュールに限る。IELTS Indicator は利用可能)
 - e. TEAP 281 点以上
 - f. TEAP CBT 540 点以上
 - g. TOEFL iBT® 62 点以上(Test Date スコアのみ利用可能。My Best™スコアは不可。Special Home Edition は利用可能)
 - h. TOEIC® L&R/S&W 1425 点以上(TOEIC® S&W のスコアを 2.5 倍にし、TOEIC® L&R と合算したスコアとする)

※いずれの試験においても4技能合計のスコアです。

※いずれの試験においても異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。

ただし、実用英語技能検定の一次試験免除者については、二次試験受験時に申請した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組み合わせを認めます。この場合、二次試験を2017年7月以降に受検し、取得したスコアを有効とします。

※団体受験のスコアは利用できません。

(2) 専門科目について

研究者コース及び高度職業人コースキャリア別プログラム志願者のうち、「金融・ファイナンス」を受験する者は、次の機能を持った電卓を持参し、必要に応じて使用してください。ただし、複雑なプログラム機能があるものは使用できません。

- ・メモリー
- ・関数電卓

8. 合否通知

- (1) 受験者全員に**郵便で本人宛に発送します**。発送日より3日経過しても届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。なお、電話・メールによる合否の問い合わせには応じられません。
- (2) 入学手続に必要な書類は、合格通知と一緒に送付します。

経済学研究科 博士後期課程

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は 2021 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、上記(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者

※出願資格(8)に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、必要書類をそろえて、入学資格審査の申請を行ってください。

必要書類：入学志願票(A票)、志望理由書、最終出身学校の卒業(修了)証明書・成績証明書(外国の教育機関の場合、翻訳を付すこと)、研究論文や実務経験の実績等

申請期間：2021 年 1 月 8 日(金)郵送必着

2. 募集人員

経済・経営・ファイナンス専攻 5 名

※試験の成績によっては、募集人員に達しない場合でも入学を許可しないことがあります。

3. 設置コース

・経済理論 ・経済史 ・応用経済 ・経営 ・経営情報 ・会計 ・ファイナンス

4. 入学検定料 35,000円

- (1) 入学検定料は「振込依頼書(D票)」を使って、金融機関(都市銀行・地方銀行・信託銀行・信用金庫・信用組合・農協)から**電信扱い**で振込んでください。
- (2) ゆうちょ銀行及び郵便局からの振込みはできません。また、**ATM(現金自動預入支払機)**は使用しないでください。
- (3) 振込み後、「振込金受領書(E票)」に取扱銀行の収納印があることを確認してください。
*「振込金受領書(E票)」は領収書となるので受験者本人が保管しておいてください。
- (4) 入学検定料が納入されても、出願書類が期間内に本学に到着しない場合は受験できません。また、一度納入された入学検定料は、返還しません。ただし、次の①～④の場合で、返還請求締切日(2月26日(金))までに武蔵大学入試課(TEL: 03-5984-3715)に請求連絡があった場合のみ入学検定料を返還します。なお、入学検定料返還に伴い発生する手数料は志願者の負担となります。
 - ①入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
 - ②入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった場合
 - ③入学検定料を納入したが、出願締切後に入願書類を提出した場合
 - ④納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合

5. 受験上の注意事項

- (1) 当日は受験票を携帯し、試験場では常に机の上に置いてください。
- (2) 試験開始後 30 分以上遅れた者は、受験できません。
- (3) 試験開始後 30 分以内は退室することができません。
- (4) 試験当日は受験者関係の車の乗り入れはできません。
- (5) 感染症に関する注意事項

試験当日、感染症を疑う症状(38 度以上の高熱、嘔吐、下痢などの症状)がある場合、他の受験生や監督者への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、学校保健安全法の出席停止期間内にあっても担当医が伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

6. 出願手続

(1) 出願書類等

- ・ 出願書類の受付は**郵送のみ**とします。**簡易書留・速達で送付**してください。
- ・ 出願書類は、日本語又は英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。

出願書類等	摘 要
入学志願票(A 票)	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。 ・ 履歴は最終学歴以降を空白期間なく記入してください。 ・ 出願前 3 ヶ月以内に撮影した正面向上半身無帽の写真を貼付してください。
対照票(B 票)	
受験票(C 票)	
研究計画書	・ A4用紙 3 枚程度。研究計画に関わる論文があれば、参考資料として提出を認めます。書式自由です。
成績証明書	・ 出身大学院で作成したもの。 ・ なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
修了証明書又は 修了見込証明書	・ 出身大学院で作成したもの。 ・ なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
修士論文	・ 修士論文(写しでも可。原本は試験終了後、本人に返還します)と同論文の要旨(3,000 字程度) 1 部
市区町村発行の 住民票	・ 外国籍の者のみ提出してください(ただし、特別永住者を除く)。 ・ 在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前 3 ヶ月以内に発行されたもの(本人のもののみ)を提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・ 受験の為、短期ビザ等で来日している者は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
宛名カード	・ 受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・ 4 ヶ所とも同じ住所を入力してください。

(2) 入学志願票（A票）等記入上の注意

- ① 「入学後の希望専修コース等」には、31 ページの7コースのうち、希望する1コースに○をし、研究主題、希望する指導教授を記入してください。なお、本大学院の学生は、**各自のコースの担当教員のうちから研究指導教授を選ばなければならない**ので、志願者はコースを決定する際十分注意してください。
- ② 連絡はすべて現住所宛に行うので正確に記入してください。
- ③ 対照票（B票）及び受験票（C票）の（ ）内には、希望するコース名を記入してください。
- ④ ※欄は記入しないでください。

(3) 受験票について

受験票は出願手続終了後に郵送します。試験日3日前までに受験票が届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。（入試課：03-5984-3715）

7. 選考方法と試験時間

出願書類による書類審査及び試験（筆記試験・口述試験）により選考します。

筆記試験 外国語科目（英語） 9：30 ～ 12：00	・ 英語4問より2問を選択し解答してください。 ・ 見出し語と語義の一方が英語又は日本語である全ての辞典（英和・中和・英中など）の持ち込み・使用を認めます。ただし、電子辞書及び経済・経営など専門的術語に関する辞典は、持ち込み・使用はできません。
口述試験 13：30 ～	・ 提出された論文、専攻分野及び外国語科目（必要な場合）について行います。

※選考方法等は、外国人受験者も共通です。

8. 合否通知

- (1) 受験者全員に**郵便で本人宛に発送**します。発送日より3日経過しても届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。なお、電話・メールによる合否の問い合わせには応じられません。
- (2) 入学手続に必要な書類は、合格通知と一緒に送付します。

人文科学研究科

博士前期課程（修士課程）

一般入試

1. 出願資格

武蔵大学人文学部・社会学部在籍者でⅠ期入試に出願する場合は、別紙「人文科学研究科 学内推薦入試学生募集要項」を参照してください。以下の資格はⅡ期入試のものです。

次の各号のいずれかに該当する者、又は 2021 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者

※出願資格(9)に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、必要書類をそろえて、入学資格審査の申請を行ってください。

必要書類：入学志願票(A票)のコピー又は履歴書、志望理由書、最終出身学校の卒業証明書・成績証明書（外国の教育機関の場合、翻訳を付すこと）

申請期日：2021 年 1 月 8 日(金)郵送必着

2. 募集人員

		Ⅱ 期
博士前期課程	欧米文化専攻	4 名
	日本文化専攻	4 名
	社会学専攻	4 名

※試験の成績によっては、募集人員に達しない場合でも入学を許可しないことがあります。

Ⅰ期は学内推薦のみ募集します。

3. 入学検定料 35,000円

- (1) 入学検定料は「振込依頼書(D票)」を使って、金融機関(都市銀行・地方銀行・信託銀行・信用金庫・信用組合・農協)から**電信扱い**で振込んでください。
- (2) ゆうちょ銀行及び郵便局からの振込みはできません。また、**ATM(現金自動預入支払機)**は使用しないでください。
- (3) 振込み後、「振込金受領書(E票)」に取扱銀行の収納印があることを確認してください。
* 「振込金受領書(E票)」は領収書となるので受験者本人が保管しておいてください。
- (4) 入学検定料が納入されても、出願書類が期間内に本学に到着しない場合は受験できません。また、一度納入された入学検定料は、原則として返還しません。ただし、次の①～④の場合で、返還請求締切日(2月26日(金))までに武蔵大学入試課(TEL: 03-5984-3715)に請求連絡があった場合のみ入学検定料を返還します。なお、入学検定料返還に伴い発生する手数料は志願者の負担となります。
 - ① 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
 - ② 入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった場合
 - ③ 入学検定料を納入したが、出願締切後に出願書類を提出した場合
 - ④ 納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合

4. 受験上の注意事項

- (1) 当日は受験票を携帯し、試験場では常に机の上に置いてください。
- (2) 試験開始後30分以上遅れた者は、受験できません。
- (3) 試験開始後30分以内は退室することができません。
- (4) 試験当日は受験者関係の車の乗り入れはできません。
- (5) 感染症に関する注意事項
試験当日、感染症を疑う症状(38度以上の高熱、嘔吐、下痢などの症状)がある場合、他の受験生や監督者への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、学校保健安全法の出席停止期間内にあっても担当医が伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。
なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

5. 出願手続

(1) 出願書類等

- ・ 出願書類の受付は**郵送のみ**とします。**簡易書留・速達で送付**してください。
- ・ 出願書類は、日本語又は英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。
- ・ 入学志願票(A票)、志望理由書の学歴・職歴欄が足りない場合は、別紙(書式自由)に続けて記入してください。
- ・ 長期履修学生制度・早期修了制度を希望する受験者は 29 ページをご覧ください。

出願書類等	摘 要
入学志願票(A票)	・ 本研究科所定の用紙を使用し、自筆で記入してください。 ・ 出願前3ヶ月以内に撮影した正面向上半身無帽の写真を貼付してください。
対照票(B票)	
受験票(C票)	
成績証明書	・ 出身大学で作成したもの。 ・ なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
卒業証明書又は卒業見込証明書	・ 出身大学で作成したもの。 ・ なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
卒業論文又はそれに準ずるもの(制作物、研究レポート等)の写し	・ 武蔵大学人文学部、社会学部の新卒予定者(卒業見込の者)は除きます。 ・ 提出された卒業論文等の写しは返却しません。 ・ 原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。 ・ ※卒業論文に準ずるものの対象については各専攻によって異なります。詳細は入試課にお問い合わせください。
志望理由書	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。
研究計画書	・ 研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を欧米文化専攻、日本文化専攻は1,000字程度、社会学専攻は2,000字程度で記入してください。A4判で書式は自由です。
市区町村発行の住民票	・ 外国籍の者のみ提出してください(ただし、特別永住者を除く)。 ・ 在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前3ヶ月以内に発行されたもの(本人のもののみ)を提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・ 受験の為、短期ビザ等で来日している者は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
合格証書等の写し	・ 外国語科目の試験が免除になる条件に該当する者のみ提出してください。(21ページ参照)
宛名カード	・ 受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・ 4ヶ所とも同じ住所を記入してください。

(2) 入学志願票 (A 票) 等記入上の注意

- ① 志願票 (A 票) ・ 対照票 (B 票) ・ 受験票 (C 票) の枠内を記入してください。
- ② 「入試」 「方式」 欄は該当するものに○をしてください。
- ③ 「コース選択」 欄は希望するものに○をしてください。コースについての詳細は『大学院案内 2021』をご覧ください。キャリアアップコースは以下を参照し、プログラム名を記入してください。

【キャリアアップコース】

以下のうち希望するプログラムを 1 つ記入してください。

1 教員能力開発プログラム
2 学芸員研究能力開発プログラム
3 専門社会調査士資格取得プログラム

※教員能力開発プログラム受験者は、教員免許状(第一種)を有していることが望めます。

※学芸員研究能力開発プログラム受験者は、学芸員資格を有していることが望めます。また、出願期間までに指導教授について入試課までお問合せください。

※専門社会調査士資格取得プログラム受験者は、社会調査士資格を有していることが望めます。また、出願期間までに指導教授について入試課までお問合せください。

- ④ 「入学後の希望指導教授」 欄には 32～33 ページの「研究指導教授」を参照し、希望する研究指導教授を第二希望まで記入してください(第二希望は空欄でも可)。
- ⑤ 「受験科目」 欄は専門研究コース受験者のみ、21 ページ表「筆記試験」の「外国語科目」を参照の上、選択した科目を記入してください(キャリアアップコース・生涯学習コースの受験者は記入不要です)。

(3) 受験票について

受験票は出願手続終了後に郵送します。試験日 3 日前までに受験票が届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。(入試課：03-5984-3715)

6. 選考方法と試験時間

【専門研究コース】

出願書類による書類審査及び試験（筆記試験・口述試験）により選考します。

	筆記試験		口述試験
	9 : 00～11 : 00 専門科目	11 : 20～12 : 10 外国語科目	13 : 30～
欧米文化専攻	専門科目	英語、ドイツ語、フランス語 から1外国語選択	専門分野について、 主に日本語で行います
日本文化専攻※		英語※※、中国語、韓国・朝鮮語 から1外国語選択	専門分野について、 日本語で行います
社会学専攻		英語※※、ドイツ語、フランス語 から1外国語選択	

※日本文化専攻に出願する外国人留学生で条件を満たす者は、外国語試験が免除される場合があります。

下記「7. 筆記試験の注意（4）」を参照してください。

※※日本文化専攻及び社会学専攻で外国語科目を英語で受験する者で、指定された基準を満たす者は試験が免除される場合があります。下記「7. 筆記試験の注意（5）」を参照してください。

【キャリアアップコース】 【生涯学習コース】

出願書類による書類審査及び試験（筆記試験・口述試験）により選考します。

	筆記試験		口述試験
	9 : 00～11 : 00	11 : 20～12 : 10	13 : 30～
欧米文化専攻	専門科目	小論文	専門分野について、 日本語で行います
日本文化専攻			
社会学専攻			

7. 筆記試験の注意

- （1）筆記試験は、出願する専攻によって異なります。
- （2）辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません。
- （3）日本語を母語としない受験者についても、外国語の試験は一般の受験者と同様に行います。
- （4）日本文化専攻では、原則として外国において12年（日本において高等学校卒業までに相当する期間）以上の学校教育課程を修了した外国人留学生で、以下①～③のいずれかの条件を満たす者は、外国語科目の試験を免除します。ただし、2018年1月以降に受験したものに限りません。
 - ① 日本語能力試験レベル N1
 - ② 日本留学試験「日本語」の多肢選択形式「読解」「聴解・聴読解」合計 320 点以上かつ「記述」40 点以上
 - ③ J.TEST 実用日本語検定：「A-C レベル試験」800 点以上（2019 年 5 月から）
「A-D レベル試験」800 点以上（2019 年 3 月まで）
- （5）日本文化専攻及び社会学専攻では、外国語科目を英語で受験する場合、以下①～③のいずれかの条件を満たす者は英語の試験を免除します。ただし、2018 年 1 月以降に受験したものに限りません。
 - ① 実用英語技能検定準 1 級以上
 - ② TOEFL iBT® 50 点以上（Special Home Edition は利用可能）
 - ③ TOEIC® L&R 650 点以上

8. 合否通知

- （1）受験者全員に郵便で本人宛に発送します。発送日より3日経過しても届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。なお、電話・メールによる合否の問い合わせには応じられません。
- （2）入学手続に必要な書類は、合格通知と一緒に送付します。

人文科学研究科

博士前期課程（修士課程）

社会人入試

1. 出願資格

大学卒業後2年以上経過した者（2019年3月31日以前に卒業した者）

2. 募集人員

		Ⅱ期
博士前期課程	欧米文化専攻	4名
	日本文化専攻	4名
	社会学専攻	4名

※試験の成績によっては、募集人員に達しない場合でも入学を許可しないことがあります。

I期は学内推薦のみ募集します。

3. 入学検定料 35,000円

- (1) 入学検定料は「振込依頼書(D票)」を使って、金融機関(都市銀行・地方銀行・信託銀行・信用金庫・信用組合・農協)から**電信扱い**で振込んでください。
- (2) ゆうちょ銀行及び郵便局からの振込みはできません。また、**ATM(現金自動預入払機)**は使用しないでください。
- (3) 振込み後、「振込金受領書(E票)」に取扱銀行の収納印があることを確認してください。
*「振込金受領書(E票)」は領収書となるので受験者本人が保管しておいてください。
- (4) 入学検定料が納入されても、出願書類が期間内に本学に到着しない場合は受験できません。また、一度納入された入学検定料は、原則として返還しません。ただし、次の①～④の場合で、返還請求締切日(2月26日(金))までに武蔵大学入試課(TEL: 03-5984-3715)に請求連絡があった場合のみ入学検定料を返還します。なお、入学検定料返還に伴い発生する手数料は志願者の負担となります。
 - ①入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
 - ②入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった場合
 - ③入学検定料を納入したが、出願締切後に出願書類を提出した場合
 - ④納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合

4. 受験上の注意事項

- (1) 当日は受験票を携帯し、試験場では常に机の上に置いてください。
- (2) 試験開始後30分以上遅れた者は、受験できません。
- (3) 試験開始後30分以内は退室することができません。
- (4) 試験当日は受験者関係の車の乗り入れはできません。
- (5) 感染症に関する注意事項
試験当日、感染症を疑う症状(38度以上の高熱、嘔吐、下痢などの症状)がある場合、他の受験生や監督者への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、学校保健安全法の出席停止期間内にあっても担当医が伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。
なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

5. 出願手続

(1) 出願書類等

- ・ 出願書類の受付は**郵送のみ**とします。**簡易書留・速達で送付**してください。
- ・ 出願書類は、日本語又は英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。
- ・ 入学志願票(A票)、志望理由書の学歴・職歴欄が足りない場合は、別紙(書式自由)に続けて記入してください。
- ・ 長期履修学生制度・早期修了制度を希望する受験者は 29 ページをご覧ください。

出願書類等	摘 要
入学志願票(A票)	・ 本研究科所定の用紙を使用し、自筆で記入してください。 ・ 出願前3ヶ月以内に撮影した正面向上半身無帽の写真を貼付してください。
対照票(B票)	
受験票(C票)	
成績証明書	・ 出身大学で作成したもの。 ・ なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
卒業証明書	・ 出身大学で作成したもの。 ・ なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
卒業論文の写し 又はそれに代わるもの の写し	・ 提出された卒業論文等の写しは返却しません。 ・ 原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。 ・ ※該当するものがない場合は、大学(またはそれに準ずる教育機関)において研究したことについて「これまでの研究内容」というタイトルで A4判 1～2枚程度にまとめて提出してください。書式は自由です。
志望理由書	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。
研究計画書	・ 研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を 2,000 字程度で記入してください。A4判で書式は自由です。
市区町村発行の 住民票	・ 外国籍の者のみ提出してください(ただし、特別永住者を除く)。 ・ 在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前3ヶ月以内に発行されたもの(本人のもののみ)を提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・ 受験の為、短期ビザ等で来日している者は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
宛名カード	・ 受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・ 4ヶ所とも同じ住所を記入してください。

(2) 入学志願票 (A 票) 等記入上の注意

- ① 志願票 (A 票) ・ 対照票 (B 票) ・ 受験票 (C 票) の枠内を記入してください。
- ② 「入試」「方式」欄は該当するものに○をしてください。
- ③ 「コース選択」欄は希望するものに○をしてください。コースについての詳細は『大学院案内 2021』をご覧ください。キャリアアップコースは以下を参照し、プログラム名を記入してください。

【キャリアアップコース】

以下のうち希望するプログラムを1つ記入してください。

1	教員能力開発プログラム
2	学芸員研究能力開発プログラム
3	専門社会調査士資格取得プログラム

※教員能力開発プログラム受験者は、教員免許状(第一種)を有していることが望めます。

※学芸員研究能力開発プログラム受験者は、学芸員資格を有していることが望めます。また、出願期間までに指導教授について入試課までお問合せください。

※専門社会調査士資格取得プログラム受験者は、社会調査士資格を有していることが望めます。また、出願期間までに指導教授について入試課までお問合せください。

- ④ 「入学後の希望指導教授」欄には 32～33 ページの「研究指導教授」を参照し、希望する研究指導教授を第二希望まで記入してください(第二希望は空欄でも可)。
- ⑤ 「受験科目」欄は記入不要です。

(3) 受験票について

受験票は出願手続終了後に郵送します。試験日3日前までに受験票が届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。(入試課：03-5984-3715)

6. 選考方法と試験時間

【専門研究コース】【キャリアアップコース】【生涯学習コース】

出願書類による書類審査及び試験(筆記試験・口述試験)により選考します。

	筆記試験		口述試験
	9:00～11:00	11:20～12:10	13:30～
欧米文化専攻	専門科目	小論文	専門分野について、日本語で行います
日本文化専攻			
社会学専攻			

7. 筆記試験の注意

- (1) 筆記試験は、出願する専攻によって異なります。
- (2) 辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません。

8. 合否通知

- (1) 受験者全員に郵便で本人宛に発送します。発送日より3日経過しても届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。なお、電話・メールによる合否の問い合わせには応じられません。
- (2) 入学手続に必要な書類は、合格通知と一緒に送付します。

人文科学研究科

博士後期課程

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は 2021 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、上記(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者

※出願資格(8)に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、必要書類をそろえて、入学資格審査の申請を行ってください。

必要書類：入学志願票(A 票)のコピー又は履歴書、志望理由書、最終出身学校の卒業証明書・成績証明書
(外国の教育機関の場合、翻訳を付すこと)

申請期日：2021 年 1 月 8 日(金) 郵送必着

2. 募集人員

博士後期課程	欧米文化専攻	4 名
	日本文化専攻	4 名
	社会学専攻	4 名

※試験の成績によっては、募集人員に達しない場合でも入学を許可しないことがあります。

3. 入学検定料 35,000円

- (1) 入学検定料は「振込依頼書(D 票)」を使って、金融機関(都市銀行・地方銀行・信託銀行・信用金庫・信用組合・農協)から**電信扱い**で振り込んでください。
- (2) ゆうちょ銀行及び郵便局からの振り込みはできません。また、**ATM(現金自動預入払機)**は**使用しないでください**。
- (3) 振り込み後、「振込金受領書(E 票)」に取扱銀行の収納印があることを確認してください。
*「振込金受領書(E 票)」は領収書となるので受験者本人が保管しておいてください。
- (4) 入学検定料が納入されても、出願書類が期間内に本学に到着しない場合は受験できません。また、一度納入された入学検定料は、原則として返還しません。ただし、次の①～④の場合で、返還請求締切日(2 月 26 日(金))までに武蔵大学入試課(TEL: 03-5984-3715)に請求連絡があった場合のみ入学検定料を返還します。なお、入学検定料返還に伴い発生する手数料は志願者の負担となります。
 - ①入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
 - ②入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった場合
 - ③入学検定料を納入したが、出願締切後に出願書類を提出した場合
 - ④納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合

4. 受験上の注意事項

- (1) 当日は受験票を携帯し、試験場では常に机の上に置いてください。
- (2) 試験開始後 30 分以上遅れた者は、受験できません。
- (3) 試験開始後 30 分以内は退室することができません。
- (4) 試験当日は受験者関係の車の乗り入れはできません。
- (5) 感染症に関する注意事項

試験当日、感染症を疑う症状（38 度以上の高熱、嘔吐、下痢などの症状）がある場合、他の受験生や監督者への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、学校保健安全法の出席停止期間内にあっても担当医が伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

5. 出願手続

(1) 出願書類等

- ・ 出願書類の受付は**郵送のみ**とします。**簡易書留・速達で送付**してください。
- ・ 出願書類は、日本語又は英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。

出願書類等	摘 要
入学志願票(A 票)	・ 本研究科所定の用紙を使用し、自筆で記入してください。 ・ 出願前 3 ヶ月以内に撮影した正面向上半身無帽の写真を貼付してください。
対照票(B 票)	
受験票(C 票)	
成績証明書	・ 出身大学院で作成したもの。 ・ なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
修了証明書又は 修了見込証明書	・ 出身大学院で作成したもの。 ・ なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
修士論文の写し 又はそれに代わる ものの写し	・ 武蔵大学大学院人文科学研究科の出身者及び同修了見込の者を除きます。 ・ 提出された修士論文の写しは返却しません。 ・ 原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。
志望理由書	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。
研究計画書	・ 研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を 2,000 字程度で記入してください。A 4 判で書式は自由です。
市区町村発行の 住民票	・ 外国籍の者のみ提出してください(ただし、特別永住者を除く)。 ・ 在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前 3 ヶ月以内に発行されたもの(本人のもののみ)を提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・ 受験の為、短期ビザ等で来日している者は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
宛名カード	・ 受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・ 4 ヶ所とも同じ住所を記入してください。

(2) 入学志願票(A票)等記入上の注意

- ① 志願票(A票)・対照票(B票)・受験票(C票)の枠内を記入してください。
- ② 「入学後の希望指導教授」欄は 34 ページの「研究指導教授」を参照し、希望する研究指導教授を第二希望まで記入してください(第二希望は空欄でも可)。

(3) 受験票について

受験票は出願手続終了後に郵送します。試験日 3 日前までに受験票が届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。(入試課：03-5984-3715)

6. 選考方法と試験時間

出願書類による書類審査及び試験(筆記試験・口述試験)により選考します。

	筆記試験 9:00~11:00	口述試験 13:30~
欧米文化専攻	専門科目	専門分野について、主に日本語で行います
日本文化専攻		専門分野について、日本語で行います
社会学専攻		

7. 筆記試験の注意

- (1) 筆記試験は、出願する専攻によって異なります。
- (2) 社会学専攻の専門科目の筆記試験に限り、英和辞典 1 冊の持ち込み・使用を認めます。

8. 合否通知

- (1) 受験者全員に郵便で本人宛に発送します。発送日より 3 日経過しても届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。なお、電話・メールによる合否の問い合わせには応じられません。
- (2) 入学手続に必要な書類は、合格通知と一緒に送付します。

各研究科共通事項

1. 入学手続

手続期間内に入学金・学費等を納入し、入学手続書類を郵送し、入学手続を完了してください。入学金・学費等は納付期限日までに本学指定銀行口座に必着、入学手続書類は**締切日消印有効**です。

合格者が期限までに入学手続を完了しないときは、入学を辞退したものと取り扱います。書類の不着による入学手続の遅延は認めません。

<2021 年度納付金>

2021 年度納付金額は未定のため下記の 2020 年度納付金額を参考にしてください。合格通知の際に 2021 年度納付金額を通知します。

参考：2020 年度納付金

【博士前期課程】

(単位：円)

項 目		前 学 期	後 学 期	年 額
一次手続時	入 学 金	150,000		150,000
二次手続時	学 費	授 業 料	260,000	520,000
		維 持 費	60,000	120,000
		計	320,000	640,000
	委託徴収会費（学会費）		2,500	2,500
初 年 度 合 計		472,500	320,000	792,500

* 武蔵大学卒業者は、入学金が免除されます。

【博士後期課程】

(単位：円)

項 目		前 学 期	後 学 期	年 額
一次手続時	入 学 金	150,000		150,000
二次手続時	学 費	授 業 料	240,000	480,000
		維 持 費	60,000	120,000
		計	300,000	600,000
	委託徴収会費（学会費）		2,500	2,500
初 年 度 合 計		452,500	300,000	752,500

* 武蔵大学卒業者あるいは武蔵大学大学院博士前期課程（修士課程）修了者は、入学金が免除されます。

- (1) 学費等納入は「全納(年額)」あるいは「前学期・後学期に分納」より選択できます。分納の場合、後学期分学費は 2021 年 10 月末日までに納入してください。(後学期分学費の納入用紙は 9 月上旬に発送します。)
- (2) 授業料と維持費は修了時まで金額の変更はありません。
- (3) 私費外国人留学生については授業料減免制度があります。選考基準に基づき決定します。詳細は本学学生生活課に問い合わせてください。(学生生活課 TEL 03-5984-3722)
- (4) 第二次入学手続完了後、入学辞退を希望する場合は、本学所定の「入学辞退届(納付金返還願)」を、2021 年 3 月 31 日(消印有効)までに、「簡易書留・速達」で郵送してください。入学金を除く「学費及び委託徴収会費」を返還いたします。ただし、提出された書類については返却いたしません。

2. 長期履修学生制度

この制度は、職業を有している等の理由により標準修業年限で修了することが困難な学生を対象としています。標準修業年限(2年)を超えて一定の期間(3年又は4年)にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位を取得することができます。

対 象 者	経済学研究科 博士前期課程 人文科学研究科 博士前期課程
年間授業料等	3年コースの場合は標準の学費等の 2/3 4年コースの場合は標準の学費等の 1/2
備 考	・入学志願票(A票)の「長期履修学生制度申請欄」に申請理由を記入すること。 ・「在職証明書」又は在職が確認できる書類、及び申請理由が在職以外である場合は、それを証明できる書類があることが望ましい。 ・長期履修学生の奨学金制度については本学学生生活課に問い合わせてください。 (学生生活課TEL: 03-5984-3722)

3. 早期修了制度

人文科学研究科では、成績優秀者が1年で大学院博士前期課程(修士課程)を修了できる制度があります。希望者は、入学後に教務課にて所定の手続を行う必要があります。条件は『大学院案内 2021』をご覧ください。

4. 受験及び修学における特別な配慮について

病気・負傷や障害等のため、受験及び修学上で特別な配慮を必要とする方は、各出願受付開始日1ヶ月前までに入試課へご連絡ください。ご希望をお伺いし、本学が取りうる措置について説明いたします。

問い合わせ先：入試課 TEL 03-5984-3715

5. 奨学金制度

『大学院案内 2021』をご覧ください。

6. その他

武蔵大学大学院では研究活動を助成することを目的に、院生研究費を支給しています。

研究用図書、会費、学会・研究旅費、研究用コピー代を対象に年額 30,000 円が支給されます。

7. 在留手続きについて

35 ページを参照してください。

8. 研究指導教授

経済学研究科

■博士前期課程(修士課程) 研究者コース

- (1) 志願票(A票)の「希望指導教授」として選べる教員は以下のとおりです。

研究指導教授については2021年度に担当できない場合もあります。詳細は入試課まで問い合わせてください。

- (2) 教員の専攻分野の詳細については、『大学院案内 2021』をご覧ください。

- (3) 「経済学A」はマルクス経済学の理論、経済史の範囲から、「経済学B」はマクロ経済学、ミクロ経済学の理論とその基本的な応用問題の範囲から出題されます。

分野	担当者	担当科目	専門試験科目
経済理論	教授 伊藤 成康	応用ミクロ経済分析	経済学B
	教授 今井 英彦	計量経済学	経済学B
	教授 清水 敦	経済学史	経済学A
	教授 鈴木 唯	上級マクロ経済学	経済学B
	教授 松川 勇	応用ミクロ経済分析	経済学B
	教授 横川 信治	政治経済学	経済学A
	教授 吉田 真理子	経済動学	経済学B
経済史	教授 河合 康夫	西洋経済史	経済学A
	教授 攝津 齊彦	日本経済史	経済学A
	教授 根元 邦朗	社会思想史	経済学A
応用経済	教授 田中 健太	産業組織論	経済学B
	教授 東郷 賢	開発経済学	経済学B
	教授 二階堂 有子	世界経済論	経済学A
	教授 広田 啓朗	現代財政論	経済学B
	准教授 古村 聖	労働経済学	経済学B
	准教授 蓮見 亮	現代金融論	経済学B
経営	教授 伊藤 誠悟	市場戦略	経営学
	教授 鈴木 真也	国際経営	
	教授 高橋 徳行	ベンチャー企業	
	教授 土屋 直樹	人事管理	
	教授 朴 宰佑	マーケティング	
	教授 古瀬 公博	経営組織	
	教授 森永 雄太	組織行動	
	教授 山崎 秀雄	経営戦略	
経営情報	教授 梅田 茂樹	意思決定システム	経営情報学
	教授 荻野 紫穂	情報コミュニケーション	
	教授 下川 拓平	数理システム	
	教授 竹内 広宜	経営情報マネジメント	
会計	教授 海老原 崇	財務報告論	会計学
	教授 豊田 俊一	国際会計論	
	教授 水島 治	企業法	
	准教授 高橋 由香里	財務会計論	
	准教授 山下 奨	財務会計論	
ファイナンス	教授 安達 智彦	インベストメント	金融・ファイナンス
	教授 大野 早苗	国際ファイナンス	
	教授 神楽岡 優昌	金融工学	
	教授 茶野 努	金融機関	
	教授 徳永 俊史	コーポレートファイナンス	
	准教授 中嶋 幹	証券市場	

経済学研究科

■博士後期課程

(1) 志願票(A票)の「希望指導教授」として選べる教員は以下のとおりです。

研究指導教授については、2021 年度に担当できない場合もあります。詳細は入試課まで問い合わせてください。

(2) 教員の専攻分野の詳細については、『大学院案内 2021』をご覧ください。

コース		担当者	担当科目
経済理論	教授	伊藤 成康	応用ミクロ経済分析
	教授	今井 英彦	計量経済学
	教授	清水 敦	経済学史
	教授	鈴木 唯	上級マクロ経済学
	教授	松川 勇	応用ミクロ経済分析
	教授	横川 信治	政治経済学
	教授	吉田 真理子	経済動学
経済史	教授	河合 康夫	西洋経済史
	教授	攝津 斉彦	日本経済史
	教授	根元 邦朗	社会思想史
応用経済	教授	田中 健太	産業組織論
	教授	東郷 賢	開発経済学
	教授	二階堂 有子	世界経済論
	教授	広田 啓朗	現代財政論
経営	教授	伊藤 誠悟	市場戦略
	教授	鈴木 真也	国際経営
	教授	高橋 德行	ベンチャー企業
	教授	土屋 直樹	人事管理
	教授	朴 宰佑	マーケティング
	教授	古瀬 公博	経営組織
	教授	森永 雄太	組織行動
	教授	山崎 秀雄	経営戦略
経営情報	教授	梅田 茂樹	意思決定システム
	教授	荻野 紫穂	情報コミュニケーション
	教授	下川 拓平	数理システム
	教授	竹内 広宜	経営情報マネジメント
会計	教授	海老原 崇	財務報告論
	教授	豊田 俊一	国際会計論
	教授	水島 治	企業法
ファイナンス	教授	安達 智彦	インベストメント
	教授	大野 早苗	国際ファイナンス
	教授	神楽岡 優昌	金融工学
	教授	茶野 努	金融機関
	教授	徳永 俊史	コーポレートファイナンス

人文科学研究科

■博士前期課程（修士課程）

志願票(A票)の「希望指導教授」として選べる教員は以下のとおりです。2021 年度特別研究員となる教員については授業を開講しませんので、出願前に入試課へご確認ください。

専攻	担当者		研究領域
欧米文化	教授	新井 景子	アメリカ文学。イーディス・ウォートンやウィラ・キャザーを中心に、世紀転換期から 20 世紀前半のアメリカ小説を研究。特に世紀転換期の小説における女性表象について
	教授	踊 共二	西洋史(ヨーロッパ中世・近世史)、日欧交流史
	教授	香川 檀	視覚芸術論、ヨーロッパ特にドイツの近現代美術、ジェンダー論
	教授	桂 元嗣	中欧文化論、ドイツ文学
	教授	木元 豊	フランス文学
	教授	黒田 享	ドイツ語学、北欧語学、比較言語学、言語政策
	教授	小山 ブリジット	比較文学、ジャポニズム、フランス文学、フランス文化
	教授	嶋内 博愛	文化人類学、ドイツ民族学、伝承研究
	教授	谷 憲治	応用言語学、語彙分析、英語の歴史
	教授	土屋 武久	応用言語学、英語教育
	教授	角田 俊男	英語圏の思想・文化史、およびその古代や他地域との関連
	教授	直井 一博	学びの社会性からみた英語学習と指導の諸相の探究
	教授	新納 卓也	ウィリアム・フォークナーをはじめとする南部作家 20 世紀前半のアメリカ人作家による小説作品の研究
	教授	西村 淳子	一般言語学、フランス語学、テキスト言語学
	教授	平野 千果子	フランス植民地史、比較帝国史、ヨーロッパ近現代史
	教授	ジェイソン・ホロウェル	英語学、第一や第二言語習得、バイリンガリズム、言語教育
	教授	光野 正幸	19 世紀ドイツ文学、ドイツ・オペラ史、音楽文化論
	教授	ポール・ミンフォード	British and Postcolonial Literatures, especially 20th century and contemporary novels.
	教授	望月 ゆか	フランス近世宗教思想、キリスト教史
	准教授	北村 紗衣	シェイクスピアを中心とする近世イングランド演劇、とくにフェミニスト批評、ファンダム研究を中心とする観客論、映画を中心とする翻案研究
日本文化	准教授	小森 謙一郎	ヨーロッパ思想史・哲学、ユダヤ思想史、社会思想史
	准教授	パトリック・シュウェマー	室町末期江戸初期・大航海時代日本の表象文化
	准教授	舘 葉月	西洋史、特にフランス近現代史、国際関係史
	准教授	ブライアン・マサハート	Japan-US relations, Comparative politics.
	教授	漆澤 その子	日本の近現代における芸能社会史
	教授	小川 栄一	近代における日本語コミュニケーション
	教授	アダム・カバット	近世文学、日本幻想文学
	教授	黒岩 高	東洋史。中国ムスリムの社会史、文化史
	教授	西澤 治彦	文化人類学・歴史人類学・中国研究
	教授	福原 敏男	日本民俗学、日本文化史、日本祭礼史、日本風流史
	教授	丸山 伸彦	日本の染織史・服飾史
	教授	水口 拓寿	中国思想史
	教授	渡辺 直紀	韓国文学・文化、比較文学
	准教授	戸塚 学	日本近現代文学
	准教授	福田 武史	日本上代文学、比較文学、幼学書・古典学の影響
	准教授	村山 絵美	日本民俗学。オーラル・ヒストリー研究

専攻	担当者		研究領域
社会学	教授	安藤 丈将	政治社会学
	教授	アンジェロ・イシ	移民研究、エスニシティのメディア社会学
	教授	大屋 幸恵	芸術・文化社会学、記号論
	教授	奥村 信幸	ジャーナリズム、メディアと政治、マルチメディア・ジャーナリズム
	教授	小田原 敏	エレクトリック・メディア史
	教授	菊地 英明	福祉社会学、社会保障論
	教授	粉川 一郎	非営利組織論
	教授	庄司 昌彦	情報社会学(情報化が政府・企業に与える影響、地域情報化、電子行政、国際比較研究など)、情報通信政策、利用者視点に立ったデータ活用のあり方
	教授	千田 有紀	現代社会論(ジェンダー、家族、新自由主義ほか)
	教授	垂見 裕子	教育社会学・比較教育学
	教授	内藤 暁子	オセアニア、および日本を中心とした文化人類学
	教授	中西 祐子	ジェンダーの社会学、教育社会学、親子関係・教育意識の地域間比較とソーシャルキャピタル、アメリカ移住日本人女性のアイデンティティとコミュニティ形成についての研究
	教授	中橋 雄	メディア・リテラシー論、メディア教育
	教授	林 雄亮	大規模社会調査の計量分析に基づく社会的不平等・ライフコースに関する社会学的研究、および青少年の性行動調査研究
	教授	松本 恭幸	メディアコミュニケーション論
	教授	南田 勝也	音楽社会学
	教授	矢田部 圭介	社会学理論、とくに A. シュッツを中心とする現象学的社会学とその周辺の社会理論の検討
	准教授	人見 泰弘	国際社会学、移民・難民研究、グローバリゼーション

※学芸員研究能力開発プログラムを選ぶ場合は、指導教授について入試課までお問合せください。

※専門社会調査士資格取得プログラムを選ぶ場合は、指導教授について、入試課までお問合せください。

※教員能力開発プログラム(専攻横断科目)を選ぶ場合は、志願票(A票)の「希望指導教授」欄へは以下の一覧から選んで記入してください。

本プログラムの場合、原則として専攻の運営委員が副指導教授となります。

教員能力 開発プログラム (専攻横断科目)	担当者(教職課程教員)		研究領域
	教授	金井 香里	教育人類学、異文化間教育、教師教育学
	教授	和井田 清司	教育実践研究

人文科学研究科

■博士後期課程

志願票(A票)の「希望指導教授」として選べる教員は以下のとおりです。2021年度特別研究員となる教員については授業を開講しませんので、出願前に入試課へご確認ください。

専攻	担当者	研究領域
欧米文化	教授 新井 景子	アメリカ文学。イーディス・ウォートンやウィラ・キャザーを中心に、世紀転換期から20世紀前半のアメリカ小説を研究。特に世紀転換期の小説における女性表象について
	教授 踊 共二	西洋史(ヨーロッパ中世・近世史)、日欧交流史
	教授 香川 檀	視覚芸術論、ヨーロッパ特にドイツの近現代美術、ジェンダー論
	教授 桂 元嗣	中欧文化論、ドイツ文学
	教授 木元 豊	フランス文学
	教授 黒田 享	ドイツ語学、北欧語学、比較言語学、言語政策
	教授 小山 ブリジット	比較文学、ジャポニズム、フランス文学、フランス文化
	教授 嶋内 博愛	文化人類学、ドイツ民族学、伝承研究
	教授 角田 俊男	英語圏の思想・文化史、およびその古代や他地域との関連
	教授 西村 淳子	一般言語学、フランス語学、テキスト言語学
	教授 平野 千果子	フランス植民地史、比較帝国史、ヨーロッパ近現代史
	教授 光野 正幸	19世紀ドイツ文学、ドイツ・オペラ史、音楽文化論
	教授 望月 ゆか	フランス近世宗教思想、キリスト教史
日本文化	教授 漆澤 その子	日本の近現代における芸能社会史
	教授 小川 栄一	近代における日本語コミュニケーション
	教授 アダム・カバット	近世文学、日本幻想文学
	教授 黒岩 高	東洋史。中国ムスリムの社会史、文化史
	教授 西澤 治彦	文化人類学・歴史人類学・中国研究
	教授 福原 敏男	日本民俗学、日本文化史、日本祭礼史、日本風流史
	教授 丸山 伸彦	日本の染織史・服飾史
社会学	教授 渡辺 直紀	韓国文学・文化、比較文学
	教授 大屋 幸恵	芸術・文化社会学、記号論
	教授 奥村 信幸	ジャーナリズム、メディアと政治、マルチメディア・ジャーナリズム
	教授 小田原 敏	エレクトリック・メディア史
	教授 千田 有紀	現代社会論(ジェンダー、家族、新自由主義ほか)
	教授 垂見 裕子	教育社会学・比較教育学
	教授 内藤 暁子	オセアニア、および日本を中心とした文化人類学
	教授 中橋 雄	メディア・リテラシー論、メディア教育
	教授 林 雄亮	大規模社会調査の計量分析に基づく社会的不平等・ライフコースに関する社会学的研究、および青少年の性行動調査研究
	教授 南田 勝也	音楽社会学

在留手続きについて

本学への入学を許可された外国人学生は、在留資格「留学」を取得することができます。

(1) 日本の在留資格を有していない場合

法務省出入国在留管理局から「在留資格認定証明書」を取得し、これをパスポートとともに居住国の日本大使館又は領事館に提示して「留学」ビザ（査証）を取得してください。

ただし、本学では「在留資格認定証明書」の代理申請を行いません。本人又は代理人が手続きを行ってください。「留学」の在留資格の取得には1～3か月ほど時間がかかりますので、ご注意ください。

(2) 日本の在留資格を有している場合

①「留学」の在留資格を有している場合

在留期限に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。この申請は、在留期間満了日の3か月前から行うことができます。

②「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している場合

「定住者」、「家族滞在」等の在留資格を有している場合には、特に手続の必要はありません。ただし、留学生を対象とする奨学金は、在留資格「留学」の者を対象としています。在留資格の変更を希望する場合は、「在留資格変更許可申請」を行ってください。

③「短期滞在」の在留資格を有している場合

原則として一度国外へ出て、本学が発行する入学許可書（第二次手続完了後に発行）を使用し、「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格取得には1～3か月ほど時間がかかります。

* 本学では第二次手続完了後、以下2種類の書類を発行します。発行を希望する場合は武蔵大学入試課へご連絡ください。

i 「入学許可書」

ii 「在留資格認定証明書交付申請書」、「在留期間更新許可申請書」又は「在留資格変更許可申請書」の “所属機関等作成用1・2”

■ 最寄り駅は4駅3路線。池袋から6分、新宿から14分、渋谷から21分。



■ 最寄り駅からのアクセス

それぞれの最寄り駅から徒歩約7分。都心からも、駅からも便利な好立地です。



■ 主要駅からのアクセス

🚆 電車を利用して

池袋駅	西武池袋線	江古田駅	徒歩6分
	6分	※各駅停車にお乗りください。	
新宿駅	都営大江戸線	新江古田駅	徒歩7分
	14分		
渋谷駅	東京メトロ副都心線	新桜台駅	徒歩5分
	21分	※小竹向原駅から西武有楽町線となります。	
有楽町駅	東京メトロ有楽町線		
	29分		

🚌 バスを利用して

中野駅	関東バス (江古田駅行)	江古田駅	徒歩5分
	20分		
高円寺駅	関東バス・国際興業バス (赤羽駅行)	豊玉北	徒歩5分
	10分		
目白駅	都営バス (練馬車庫行)	武蔵大学前	徒歩0分
	20分		

武蔵大学入試課

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1
TEL 03-5984-3715 FAX 03-5984-3874



武蔵大学